

教育

提案・意見

越境入学について（回答:9月22日時点）

私のまわりに小中学校の情報が乏しいのですが教えて下さい。
厚生中学が一之木町に移って50年以上過ぎますが、隣に船江町があり倉田山
中学に通学は気の毒に思います。今は厚生中学の越境入学を緩和されている
のでしょうか。

回答

「船江町の生徒の厚生中学校への越境入学」についてですが、現在、船江1
丁目から4丁目については、倉田山中学校と厚生中学校とで学校を選択でき
るようになっています。
ご指摘のように、遠方の小中学校に通学することは児童生徒にとって負担に
なると考えます。市内公立小・中学校に通う児童生徒の通学距離などの課題
を少しでも改善するため、伊勢市では現在、学校を選択できる「調整区域」
（伊勢市教育委員会のホームページ
https://www.city.ise.mie.jp/kyouiku/youchien_gakkou/nyugaku_tenkou/1001892.html 参照）を設け、児童・生徒が入学するときに学校を選択ができる
ようになっています。

担当課

学校教育課 （2021年9月回答）〔9/21～9/24〕

道路・河川

提案・意見

アンダーパス（回答:9月21日時点）

伊勢市を南北に分断しているJR東海と近鉄、昔なら他人の敷地へ通行させてもらっていましたが、現代もはや通用しないのではないかと。

アンダーパスは横浜ゴム裏の県道60号線にあるが市内に踏切を渡らず歩いて移動を出来ないものだろうか。

要望1) 県道37号線の一之木交差点から国道23号線の長屋1交差点に抜ける道は（質問）県道748号線ですか。途中にあるJR一之木踏切と近鉄宮町第4踏切をアンダーパスに出来ないものだろうか。

私見）朝晩の車が渋滞しているのと、何故渋滞するのだろうか。車なら横浜ゴム裏のアンダーパスを通行すれば多少遠くても苦にならないはずなのに。伊勢市のPR不足だ。

要望2) 高齢になり踏切にて警報音にせかされ走ることが困難になった時に踏切の夢をみるだろう。ゆっくりと踏切を渡りたいものだ。今元気な人も必ず苦労する日がきます。

要望3) 歩道も造って下さい。

回答

ご要望1の一之木・宮町第4号踏切を通過する市道藤社御園線のアンダーパスにつきましては、県道37号と踏切との距離が近いことため道路の構造的に難しいと考えております。

ご要望2、3の歩道（立体横断施設）につきましては、設置場所や構造、費用、バリアフリー対応など課題が多くあることから、検証課題であると考えております。

なお、現在は誘導看板の設置などにより伊勢南北幹線道路（県道60号）への誘導を促すことで一之木・宮町4号踏切への自動車流入を分散させ渋滞を減らすよう対策を実施しているところでございますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

担当課

都市計画課（2021年9月回答）〔9/21～9/24〕

交通

提案・意見

おかげバスでの年齢確認（回答:9月21日時点）

おかげバス（コミュニティバス）はとてもありがたいです。特に循環バスが動くようになってから利便性がアップして、私の生活になくてはならない暮らしの足となっています。

9月から65歳以上の高齢者の年齢を明らかにする書面の提示をしないと100円になる割引が受けられないと車内表示されています。年齢をわかるように個人情報証明できる公的書類はとても大切なもので常時持っていることはありません。なくす、落とす心配が大きいです。希望者には一目で年齢が65歳以上とわかるバス専用の証明カードを発行して下さい。

回答

いつもおかげバスをご利用いただきありがとうございます。
この度は、おかげバスの乗降時にご不便をおかけしまして申し訳ありません。

おかげバスでは、運行時から大人運賃以外の割引運賃でご利用の方には、運賃お支払時に年齢や障がいの有無を確認できるものを乗務員にご提示いただいております。

また、本年9月より導入しました交通系ICカードでのご利用においても、一部の小児、障がい者用の特割ICカードでのご利用を除き、高齢者の年齢区分を判別できるICカードがないため、降車時には、年齢や障がいの有無を確認できるものをご提示いただいております。

ご要望いただきました65歳以上の年齢確認できるバス専用の証明カードの発行につきましては、既存の介護保険証や健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードなどの公的証明書があるため、現在のところ、あらたに年齢の証明となるようなバス専用証明カードを発行する予定はございません。

運賃お支払いの際は、大変お手数をおかけしますが、上記の書類などのご提示についてご協力をいただきますようお願いいたします。

担当課

交通政策課（2021年9月回答）〔9/21～9/24〕

その他

提案・意見

百葉箱、気象情報について（回答:9月22日時点）

昔、小学校には百葉箱があり気温、湿度、雨量を測定していたように記憶しております。ずいぶんと昔から見掛ません。

質問1) 今はどうしているのでしょうか。

質問2) 記録は何年保存しているのでしょうか。

質問3) テレビを観ていると伊勢市の温度が発表されますが、この温度、湿度、雨量は学校内からの情報でしょうか。伊勢市にある気象庁の情報ですか。

質問4) 伊勢市に気象庁の情報を発信する機関はあるのかな。

回答

質問1. 2. 3) 「小学校の百葉箱」についてですが、現在、小学4年生の理科の学習にて、1日の気温の変化について学びます。現在も百葉箱はほとんどの学校の運動場にありますが、しかし、百葉箱の老朽化により、百葉箱は使用せず、温度計や湿度計を使い、適した条件にそって測定をする場合もあります。

この学習期間には、毎日測定をし、記録をもとに1日の気温の変化や天気による影響について学びます。しかし、年間を通じて測定し、記録を残している学校は少ないかと思われます。また、TVで流される伊勢市の温度については、伊勢市の学校内で観測したものではありません。

今後とも、伊勢市の学校教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。（学校教育課）

質問4) 伊勢市にある気象庁の情報を発信する機関については、小俣町明野に津地方気象台の気象観測所があります。（広報広聴課）

担当課

学校教育課、広報広聴課

（2021年9月回答）〔9/21～9/24〕